土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

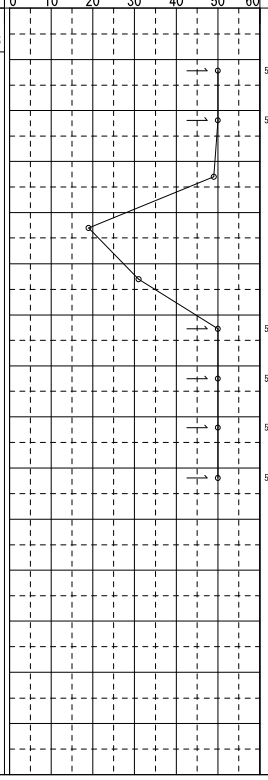
調査名	二級河川瀬野川水系熊野川支川1外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	ダム　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.5	調査位置	広島県安芸郡熊野町　地内(熊野川支川1)	北緯	34° 21’ 10.2181″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 7月 6日～ 令和3年 7月12日	東経	132° 35’ 02.4678″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 269.04m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	0北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.28m	地盤勾配	32° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-C型
				エンジン	ヤンマー　NFD-13EK型
				ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	267.24	1.80		礫混り砂質土		灰褐	rd5		渓床堆積物 ・最上位は粗粒砂主体の砂質土 ・GL-0.20m以深、花崗岩質の風化岩塊	7/10 0.85
2 3 4	264.54	4.50		玉石混り砂礫		黄灰	rd4		渓床堆積物 ・確認石長L=20cm程度以下の玉石混入 ・礫はφ75mm程度以下の中-粗礫、場所的にクサリレキが点在 ・基質は粗粒砂主体の粒度不均一な砂質土であり、若干の細粒分及び鉱物片を伴う ・基質のしまり具合は中位-密である	
5	263.04	6.00		花崗閃緑岩		灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩風化土 ・風化変質が進行して岩質は著しく軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するが、長石類及び熱水脈で粘土化著しい ・採取試料は土柱状を呈し、岩芯まで軟質化し指圧で凹む ・岩級区分はDM級(土砂)に分級される	
6 7 8 9	259.76	9.28		花崗閃緑岩		灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し掌で容易に圧潰可能 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・岩級区分はDH級(軟岩Ⅰ)に分級される ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化	
10 11 12 13 14 15										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
49	1.15	34	16		50	140	
	1.29		40		140		
19	2.15	50			50	80	
	2.23	80			80		
	3.15	19	17	13	49		
	3.45				300		
	4.15	8	5	6	19		
	4.45				300		
31	5.15	7	10	14	31		
	5.45				300		
50以上	6.15	14	21	15	50	250	
	6.40			50	250		
50以上	7.15	19	31		50	200	
	7.35				200		
50以上	8.10	17	25	8	50	220	
	8.32			20	220		
50以上	9.10	22	28		50	180	
	9.28		80		180		

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度(m)	試験名及び結果	削孔月日
						7/10